

衆議院国土交通委員会ニュース

【第208回国会】令和4年3月23日（水）、第4回の委員会が開かれました。

1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・ 齊藤国土交通大臣・国務大臣、中山国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
（質疑者）櫻田義孝君（自民）、伊藤渉君（公明）、福田昭夫君（立民）、谷田川元君（立民）、神津たけし君（立民）、池下卓君（維新）、高橋千鶴子君（共産）、福島伸享君（有志）

（質疑者及び主な質疑事項）

櫻田義孝君（自民）

（1） 建設キャリアアップシステム（CCUS）

- ア CCUSへの事業者及び技能者の登録状況並びに制度創設後の建設技能者の処遇改善及び若者の建設業への就職状況
- イ CCUSにおける能力評価基準に応じた賃金目安の設定等は民間に委ね、国土交通省の関与はガイドラインを示す程度にとどめる必要性
- ウ CCUSの運営について国会のコントロールの下に置く必要性

（2） 千葉北西連絡道路建設の検討状況及び今後の方向性

（3） つくばエクスプレス

- ア 8両編成化事業に伴うホーム延伸工事の進捗状況
- イ つくばエクスプレスの東京延伸の検討状況

伊藤渉君（公明）

- （1） トラック運送や内航海運について、燃料の価格上昇分の適正な運賃への反映に向けての現時点の取組
- （2） トラック運送業に係る標準的な運賃の告示等運賃の適正化への現時点の取組状況
- （3） 原油高騰が長期化することも視野に入れて国土交通分野における対応を準備することについての所見
- （4） 原油高騰に伴うアスファルトの値上がりに関する現状認識及び対策の検討状況
- （5） 地域の公共交通等を支援するため地方創生臨時交付金を増額することに対する見解

福田昭夫君（立民）

（1） 日光市鬼怒川温泉の再生に伴う廃屋撤去問題

- ア 跡地利用が難しい崖地に建つ廃屋撤去に観光地再生、高付加価値化のための廃屋撤去補助が利用できることの確認
- イ 廃屋撤去の計画主体に地元自治体加わる場合における撤去費用の補助上限を引き上げる必要性
- ウ 廃屋撤去費用としてふるさと納税による寄附金を募る場合、寄附金が地方交付税の基準財政収入額に算定されるかの確認

（2） 住宅建築物分野における省エネ対策、再生可能エネルギーの活用及び木材利用の促進に対する今後の取組内容

（3） 球磨川の現地調査で得た大臣の所見

（4） 球磨川水系流域治水プロジェクトが十分ではないとの考えに対する大臣の見解

（5） 盛土による災害防止対策

- ア 公共工事及びそれ以外の工事それぞれにおける建設発生土の処分先確保の責任主体

- イ 既存の土砂埋立地に対する安全対策の指示の必要性
 - ウ 建設発生土の適正な処理費用が建設発生土の運搬を行う土工業者へ支払われることとする法制定の必要性
- (6) ストック効果の高い社会資本を戦略的に整備することにより期待される効果
- (7) 増加する所有者不明の土地及び空き家に対応するため中長期的な整理計画を策定する必要性

谷田川元君（立民）

- (1) 成田国際空港
- ア 羽田空港の4本目の滑走路実現に千葉県の協力が果たした役割に対する大臣の認識
 - イ 令和2年11月の千葉県知事及び成田空港圏自治体連絡協議会会長による「成田空港における国際路線再開に関する要請」における成田空港及び羽田空港のバランスを考慮した国際路線を再開することや厳しい状況が続く空港会社や航空関連事業者に対する支援を継続することへの対応状況
 - ウ 北米路線の羽田発着から成田発着への変更のように成田空港における航空ネットワークを活用した国際線乗継需要を取り込む航空政策を今後も推進していく必要性
 - エ 成田発着便の全てを羽田発着便に移すような就航路線の見直しを行わないよう国土交通省から航空会社に要請する必要性
 - オ 成田空港の2本の滑走路の飛行経路の狭間にあるために法律に基づく移転補償の対象外となっている成田市東和泉地区への対応の在り方
- (2) 横田空域の返還
- ア 外国軍隊が駐留先において民間航空機に対する航空管制を広範囲に行っている我が国以外での事例の有無
 - イ 敗戦国であるドイツ及びイタリアと同様に、我が国においても国内法令を米軍機へ適用する必要性
 - ウ 米軍に対する我が国法令の適用に関する外務省による答弁が、昭和35年の「原則として日本の法令は適用になる」から昭和48年の「(地位協定の規定に明文がない場合)国内法令の適用はない」に変わった理由
 - エ 横田空域の返還に向けた国土交通省の姿勢が後退している懸念に対する大臣の見解
 - オ 近年の答弁で大臣が横田空域について「全面返還」という言葉を使わなくなった理由及び全面返還を目指す必要性

神津たけし君（立民）

総合評価落札方式の政府公共調達における賃上げを実施する企業に対する加点措置

- ア 政府公共調達における賃上げ企業優遇制度の実施に向けた準備状況及び大臣の決意
- イ 総合評価落札方式の根拠法令及び令和2年度の実績
- ウ 総合評価落札方式で行う政府公共調達の原則について大臣の所見
- エ 政府公共調達に附帯的な政策を取り入れることについて過去に答弁で示された政府の見解及びその場合には会計法との整合から別に法制化する必要性
- オ 公認会計士や税理士等が同落札方式に係る賃上げを証明することについての法的根拠、法的責任、罰則及びガイドラインやマニュアルの配付の有無

池下卓君（維新）

- (1) 連続立体交差事業
- ア 昭和43年の制度創設以来これまでに都道府県以外の地方自治体（政令市、県庁所在地、人口20

- 万人以上の都市、特別区)が事業主体となった連続立体交差事業の件数
- イ 平成 17 年度から施行者要件を都道府県、政令市に加え県庁所在地、人口 20 万人以上の都市及び特別区にも拡大した理由
 - ウ 施行者要件として財政力についてもきちんと考慮する必要性
 - エ 踏切除却する道路が都道府県道でなく市町村道の場合においても都道府県が同事業の事業主体になる可能性
- (2) 2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けたインフラ整備
- ア 令和 2 年 12 月に国土交通省及び高速道路会社 6 社が策定した ETC 専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化についてのロードマップ
 - a ETC 車載器を搭載していない者やクレジットカードを持っていない者が高速道路を利用できないという事態が生じないための仕組みを構築する必要性
 - b 阪神高速道路の ETC 専用化スケジュールについて、「大阪・関西万博」への影響も考慮し、適時変更の可能性」とのロードマップの記載における「適時変更」がなされる具体的な場合
 - c 地元自治体等がロードマップを前倒しで実現することに積極的である場合に国のバックアップの具体的な方法
 - イ 淀川の舟運事業
 - a 令和 3 年 11 月に行われた京都府八幡市背割堤から京都市伏見区港公園までの舟運に係る社会実験の目的及び成果
 - b 牧方市から伏見港までは定期航路が開通していない区間も併せて舟運に係る社会実験を実施する可能性
 - c 大阪市八軒家浜から大阪・関西万博会場の夢洲までの航路における舟運事業を行うための技術的な課題とその解決方法
 - d 舟運事業を成功させるため省内の垣根を取り払い地元事業者や自治体のバックアップを行うことに対する大臣の決意
- (3) 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業
- ア 令和 2 年度第 3 次補正予算に 550 億円計上した既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業に対する評価
 - イ 令和 3 年度経済対策関係予算に約 1,000 億円計上した地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業の実施に対する大臣の意気込み
 - ウ 使い勝手を良くするために同事業に対する地方自治体の関与を見直す必要性
- (4) 淀川堤防ののり面について国が自治体と協力して工夫をしながら効率のよい維持管理に努める必要性

高橋千鶴子君(共産)

福島県沖地震による被害への支援

- ア 中小企業等グループ補助金の要件を簡素化し同補助金による支援をする必要性
- イ 東日本大震災に続く連続した被害であることを踏まえ、災害救助法における応急修理が受けられるよう被害認定を丁寧に行う必要性
- ウ 宮城県の村田町村田重要伝統的建造物群保存地区の災害復旧
 - a 令和 3 年 2 月の福島県沖地震の災害復旧事業に係る支援とは別に国庫補助による支援を行う可能性
 - b 文化財としての価値を維持しながら耐震化を進める必要性
 - c 重要伝統的建造物を守るために、国が町民に歴史ある倉や建物を維持、存続するための選択肢を示す必要性

福島伸享君（有志）

高速道路料金の償還制度

- ア 社会資本整備審議会道路分科会国土幹線道路部会の中間答申において、高速道路料金の償還主義を改め料金徴収を継続する仕組みを重要な選択肢の1つとして目指しているとするに対する見解
- イ 料金徴収の継続、税負担への切替えという論点について超長期の見通しを持って議論することを必要とする理由
- ウ 道路公団又は高速道路会社による高速道路の建設や維持管理に対する、道路特定財源又は一般財源からの支出の有無
- エ 高速道路を資産として有効に活用する等の国土政策的な観点から高速道路政策の見直しを議論する必要性

- 2 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第20号）**
・ 斉藤国土交通大臣から趣旨説明を聴取しました。